

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172901852		
法人名	株式会社 ケアジャパン		
事業所名	グループホーム 永山亭		
所在地	旭川市永山4条22丁目4番12号		
自己評価作成日	平成23年9月10日	評価結果市町村受理日	平成23年11月6日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0172901852&SCD=320
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成23年10月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

開設当初より、各ユニット毎にアニマルセラピーとして、パピヨンとダックスフンドを飼育しております。入居者の方の役割として、おやつをあげて頂いたり、入居者の方だけでなくスタッフも癒され、毎日楽しく生活して頂いています。又、車椅子の方が安心して入浴が出来る様、機械浴の設置にて不安なく入浴を楽しんで頂いています。ケア理念に沿って、一人一人のペースや意思を尊重し、毎日安心とゆとりある生活や、明るく楽しく生活して頂ける様にスタッフも一緒に生活する一員として、日々笑顔を決やさず明るく楽しく介護をさせて頂いています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

地域で安心して暮らし続けることを理念に掲げ、管理者を中心に職員は良質なサービスを展開している。休息のためのベンチや収穫を楽しむ野菜作りの畑が敷地内にあり、食卓に盛り込んでいる。近くにはスーパー、幼稚園、公園、大学のキャンパスがあり、環境も充実している。管理者は職員と共に高齢者の尊厳を守り、ゆっくりとした時間が流れる自分らしい生活を基本にし、地域の関わりも大切にしている。各ユニットにはアニマルセラピーを取り入れたパピヨンとダックスフンドが利用者と来客者を迎え入れている。町内の行事への参加や学生のボランティアによる芸能披露は利用者の楽しみともなっている。地域の方とは災害時の協力も得られ、一緒に訓練も行っている。管理者は町内の班長も務め、事業所は更なる地域との信頼関係作りにも努めている。

サービスの成果に関する項目(永山亭1 アウトカム項目)		項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します	
項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(永山亭1)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員で理念を考え、ホーム内の目の付きやすい所に明示している	開設当時に作成された理念が掲げられ、職員と利用者は笑顔と素直な気持ちで信頼関係が築ける内容となっている。管理者と職員は日々の生活の中で、利用者の笑顔を見たり、ゆったりと暮らしている姿を肌で感じている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の行事や地域のお祭りなどに、利用者・スタッフで参加し、地域住民との交流を深めている	事業所の管理者が町内の班長を務めたり、行事に利用者と一緒に参加することで、地域とのつながりを大切にしている。近隣の方には避難訓練の時に救出時の手伝いや見守りをお願いしており、協力が続けられている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内会の行事などに参加し、町内の住民の方々と交流を深めている		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にて、他施設職員、家族の方々、町内会や近隣住民の方々に意見を聞き、向上に活かせるよう取り入れている	運営推進会議は家族会代表の他、町内会長、地域の方、介護保険施設長が参加し、活動報告や意見交換が行われているが、今年度は1回の開催となっている。	今後は定期開催を目指し、外部の人々の目を通して事業所の取り組み内容や課題を話し合ったり、地域の理解と支援を得るための機会とすることが期待される。利用者や家族、職員の参加も促すことで共に地域で生きる共有の場とされたい。
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の担当職員の方と、定期的に連絡を取り、相談や報告をしている	地区の地域包括支援センターより毎月訪問があり、情報交換や相談を行い相互的な協力関係を築き、連携を深めている。市の担当課には問い合わせや相談で連絡を取っている。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	以前、緊急やむを得ない状況が発生し、利用者の生命、身体を保護する為、主治医の指示にて、家族の同意を得、一時的に身体拘束した時もあったが、全スタッフ、具体的な行為は理解しており、現在対象者はいなく、現在は身体拘束のないケアに取り組んでいる	身体拘束防止マニュアルが整備され、正しい理解のもとでケアに取り組んでいる。玄関の施錠や言葉の暴力もなく、車いすからの適宜移乗やベッド周りの拘束もない。接遇や拘束防止の研修、現場指導も積極的に行い、ケアの実践に取り組んでいる。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修やミーティングにて、状況に応じた対応について、全スタッフで話し合い、言葉遣いや態度等、対応について注意し、防止に努めている		

グループホーム 永山亭

自己評価	外部評価	項目	自己評価(永山亭1)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	対象となる研修に、参加できるよう対応し、スタッフミーティング等で研修内容について、勉強する機会を設けている		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、ご本人、ご家族に十分理解して頂けるよう、詳しく説明をし、理解・納得して頂いている		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に、内部・外部の受付を記載している。又、苦情や意見があった際は、全スタッフに報告し速やかに対応している。面会時等、意見を聞きだせるよう、声掛けもしている	家族とは面会時や家族会を通じて意見を聴けるようにしている。日頃から信頼関係作りに努め、行事など様々な場面で協力が得られている。毎月担当者から利用者一人ひとりの様子がお便りに記入され、表情豊かな写真も添えられ、家族の楽しみとなっている。	
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフミーティングや、スタッフに提案がある際には、その都度聞き入れ、業務内容に取り入れられるよう、全スタッフに伝えてくれている	月1回開催されるユニット会議で職員の意見や提案が出され、利用者の生活の質向上・事業所の運営に反映させている。職員も前向きな意見を持っており、利用者がホームで居心地よく暮らせる環境作りを目指している。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得や勤務状況により昇給昇格がある。又、業務内容を職員の考えに任せ、職員は向上心を持って働くよう努めている		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修など、職員が参加したいものがあれば、積極的に参加させてくれている。又、ミーティングにて、スタッフの勉強会発表の場を設け、オムツ交換や移乗介助などの練習をスタッフ同士で行っている		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修参加等で、同業者との交流の機会があり、サービスの質を高めていく取り組みをしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(永山亭)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>面接の際に、ご本人やご家族から、アセスメントを取り、利用者の不安を軽減し、要望に応えられ、利用者が安心して生活出来るよう、取り組んでいる</p>		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>面接の際に、ご家族の思いを聞き、要望等に耳を傾けながら、今後の関係性へとつなげられる対応をしている</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人、ご家族の問題や要望を配慮し、ご本人、ご家族と相談し、何が必要かを考え、利用者に合わせて対応を努めている</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>レクリエーションや調理の下準備、月に一回程度、DRにてのお菓子パーティー等をスタッフと共に行い、楽しみのある生活を一緒に送れるよう努めている</p>		
19		<p>本人を共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>外出行事など案内を出し、一緒に参加して頂き、楽しんで頂けるよう努め、月に1度、写真付きの通信をご家族へ送付し、近況報告など行っている</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの方にいつでも面会に来て頂いたり、希望時に電話や手紙など出している。又、コミュニケーションを通じ、馴染みの場所などを聞きだせているも、限られた利用者しか出掛けられていない</p>	<p>利用開始前の生活環境を大切に、家族の面会、友人の訪問、家族と受診・温泉・外泊などの応援もしている。以前の関係が途切れない支援に心掛け、職員が仲介に入るなどして利用者が馴染みの関係を継続できるように努めている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者同士の中で、好き嫌いがはっきりとしている為、トラブルを防ぐ為、レクリエーション等する際は、必ずスタッフが入り、利用者一人一人に気を配り、全員で楽しんで頂けるよう努めている</p>		

グループホーム 永山亭

自己評価	外部評価	項目	自己評価(永山亭1)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された方のご家族の方から相談等あれば、対応している。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	コミュニケーション等で得た情報を元に、希望や意向を把握し、少しでも希望や意向通りになるよう努めている	ケアマネを中心にセンター方式の活用で情報を収集し、状況把握に努めている。1年毎に私の姿シートを再作成し、状況の変化や状態像の変化を確認している。個々の情報をもとに計画を検討している。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族の協力により得た情報を、全スタッフが把握し、又、本人とのコミュニケーションを通じた情報を、全スタッフで共有している		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その日の体調の変化や訴えを聞き、精神状況にあった個々の一日の過ごし方を支援している		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当スタッフが中心となり、個々の身体・精神状態を把握し、ご家族・全スタッフの意見を取り入れ、ケアプラン作成に活かしている	計画作成担当者を中心に介護計画を作成し、職員は記録によってサービス内容の確認を毎日している。目標達成時期に評価を行い、変更の必要があれば意見を反映し、現状に即した介護計画を作成している。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録はほぼ全スタッフで行い、ケース記録にケアプランをはさみ、チェックするようしており、全スタッフで情報を共有し、ケアプランのチェックにより介護計画の見直しに活かしている		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況の変化があれば、スタッフ・ご家族間にて話し合いし、出来る限り、本人やご家族の要望に対応出来るよう、取り組みを行っている		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域内の行事や、お祭り等に積極的に参加し、楽しんで頂けるよう支援している		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族の希望する病院に、ご家族対応にて通院して頂いているが、ご家族が対応出来ない際はスタッフが対応している。また、往診対応の利用者に関しては、特変時等、医師に連絡し対応して頂いている	基本的には家族の対応としているが、スタッフが同行しての受診や主治医による往診の対応が行われている。受診後の家族への報告や体調不良時の緊急対応、相談連携も取れている。	

グループホーム 永山亭

自己評価	外部評価	項目	自己評価(永山亭)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週二回、職場内の看護職員への健康相談を行った。訪問看護師に状況報告し、主治医との連携を図っている		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は、面会や病院職員と連絡を取り、状況把握を努め、ご家族とも相談し、早期退院をめざした対応が出来るよう努めている		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人、ご家族、全スタッフの考えを前提に、主治医と相談し、連携を取りながら支援を行っている。また、ご本人、ご家族の不安や苦痛を軽減できるよう、最善の対応を考え、取り組んでいる	ターミナルケアの経験もあり、現在は家族の要望や職員の対応状況が整えば、ホームでのターミナルケアについて検討することである。重度化や終末期に向けた指針や方針を整備し、体制を整えるよう努めている。	利用者や家族の要望に応じられるように、事業所ができる最大のケアについて指針・方針を作成し、医療関係者や家族、職員と話し合い共有を図ることが大切であり、対応の在り方について早急な検討が望まれる。
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	避難訓練の際に消防隊により、応急手当や初期対応の講習を受けているが、全スタッフではなく、訓練も定期的に行っていない。マニュアル作成しており、マニュアルにて再確認している		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	町内会を通じ、近隣住民の方にも参加して頂き、定期的に避難訓練を行っている	スプリンクラー・緊急通報装置の設置・各種講習も受けている。夜間想定訓練も予定し、2階からの避難誘導についても職員が実際に体験し、体感から重要性を感じている。訓練時には地域の協力もあり、救出や見守りの役割も確認している。備蓄も検討中である。	
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人のプライバシー確保を常に考え、声掛けや態度に気を付けて対応している	職員は利用者の尊厳を傷付けない言葉遣いやプライバシーの確保、人格を尊重したケアに努めている。管理者はケアの中で気付いた時は指導もしている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定や本人の希望を引き出せるよう、声掛けはしているが、出来ていないこともあり、本人の意思や思いを十分に引き出せていない場面もある		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の生活のリズムを把握し、出来る限り、入居者本位の生活のペースを優先している		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理容を利用する方がほとんどではあるが、カットやパーマ、毛染め等、本人の希望にそった対応をしている		

グループホーム 永山亭

自己評価	外部評価	項目	自己評価(永山亭)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日ではないが状況に応じ、調理や準備、方付け等と一緒にやっている。また、食事は職員も一緒に取り、会話をしながら楽しんで頂ける様、配慮している	身体状況に合った食事の支援、外食や行事食、職員と一緒に食事が一日の楽しみの時間となっている。準備や後片付けなどできる範囲で利用者と一緒に関わっている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分、食事チェック表にて確認し、制限のある方の管理や摂取量の少ない方へはゼリーを用いたり、好みの物の用意、食事も好みに応じ、代替りの物にて対応する等、常時観察を行っている		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時・就寝時・各食後に口腔ケアを行っている。自力にて出来る方は声掛け、見守りをし、必要に応じて仕上げを行っている		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄表を利用し、個別に排泄パターンを把握し、排泄はトイレを基本に、状況に応じ声掛け、誘導を行っている	おむつはずしを積極的に行い、トイレ排泄を基本に排泄パターンを把握し、タイミングを図り声かけ誘導を頻回に行っている。入居時より改善された利用者もおり、職員は成果を共に実感している。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分・排泄表にて状況把握し、水分摂取や軽い運動を促したり、腹部マッサージ等を行い、個々に応じた便秘の予防に努めている		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴日、時間帯はほとんど決まっているが、本人の希望を取り入れながら、入浴日以外でも入浴できるよう、個々にそった支援をしている	基本的には週2回入浴できるように入浴支援が行われているが、暑い時期や身体状況に合わせ適宜柔軟に対応している。1階には広い機械浴室も整備され状態に合わせた対応となり、2階の利用者も安全に入浴を楽しんでいる。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動を無理せず促し、昼夜逆転せずに良眠できるよう努めている		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の副作用は医師からの話を全職員に報告し、観察、状態把握に努めている。また、全員の内服の内訳を見やすい位置に設置している		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	外出等を取り入れたり全員で出来るような手芸や洗濯物たたみレクリエーション等と一緒に楽しみのある日常生活を送れるよう努めている。また夏頃から畑にて野菜の収穫や花の手入れ等も一緒に行っている		

グループホーム 永山亭

自己評価	外部評価	項目	自己評価(永山亭)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>本人の希望を取り入れながら、出来るだけ外出の機会を設けている。外出、外泊には制限はなく、ご家族の協力を得て、出掛けられる様にはなっているが、個々の対応は職員の状況により難しい。外出行事の際にはご家族にも案内をだし、参加して頂いている</p>	<p>散歩、買い物を中心に日常的に外出の機会を作っている。ホーム内の菜園で野菜作りや収穫に関わり、食卓に盛り込んでいる。ドライブや帰省、外食や行事参加で多く出かける工夫をしている。職員は個別の多様な要望に応えられるよう取り組みを検討中である。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自己管理の出来る方は本人に任せ、それ以外の方は本人や家族の方の了解のもと、ホームにて管理し、買い物等、必要時は都度対応している</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>電話は本人の希望により、その都度事務所の電話を使って頂いている。電話の取次ぎに関しても、その都度行っており、手紙に関しても同様に行っている</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホール内には、季節や行事を感じられる物を設置し、入居者とスタッフによる共同作品の展示等、心地よい環境作りに勤めている</p>	<p>広々と明るいきりびんぐに食卓テーブルとソファが置かれ、利用者は思い思いの場所で集っている。装飾などで季節を感じられる共有空間を工夫している。掃除も行き届き、清潔感があり、温度調整や湿度の管理も適宜行われている。職員は一緒にいる時間を多く作り、利用者が心地よく過ごす空間となっている。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>入居者同士が、好きな場所で好きな時に、くつろげる様、ソファや一人掛けの椅子などを設置している</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた馴染みの物や、職員と一緒に作成した飾りや作品を飾ったり、自宅で使用していた家具やご家族からの手紙や写真など、一人一人過ごしやすいそれぞれの空間作りに勤めている</p>	<p>居室には洗面台が設置され個別の対応と自主性が養われる空間となっている。利用者は使い慣れた家具や好みの生活用品を持ち込み、思い出の品や写真などを飾り、その人らしい居室となっている。ホームでは利用者負担軽減の配慮からベッドの常備もしている。</p>	
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>自らの日常生活動作を自立して出来る様、可能性を探し生活全体に意欲が持てる様、社会資源・人的資源を活用し、その人らしく生活出来るよう、安心・安全・快適な生活環境をご家族・職員共に話し合っている</p>		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172901852		
法人名	株式会社 ケアジャパン		
事業所名	グループホーム 永山亭		
所在地	旭川市永山4条22丁目4番12号		
自己評価作成日	平成23年9月4日	評価結果市町村受理日	平成23年11月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「永山亭1 ユニット」に同じ

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0172901852&SCD=320
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成23年10月5日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

. サービスの成果に関する項目(永山亭2 アウトカム項目) 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(永山亭2)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念はスタッフで考え、ホーム内に明示しており、各自理解してもらえよう話している。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内の行事や、提携施設のお祭り等の参加をさせていただき、交流を図っている。又、町内会にも加入しており、町内の行事の参加をしたり、日々挨拶をし交流を図っている。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議において、町内会長との交流が増えた事により地域の方との交流も増え、行事の参加などは率先して、声を掛けてくれる事が増えてきている。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族の方や、町内会等の意見を聞き入れ、サービスの向上につなげている。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市の担当職員には、定期的に相談や報告を行なうと共に、疑問点については説明を受け、協力を得ている。		
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	会議やミーティング等で話し合い、スタッフ一人一人が自覚をし、拘束をしないで介護が出来る方法を考え問題発生時など検討をしている。今年度ドクター指示での拘束をする期間があったが、早めの中止をする為ドクターとの連携を密にし、取り組んだ。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	防止法については学ぶ事は少ないも、虐待のないようスタッフ一人一人が介護を行なっている。又、打撲痕についても原因を探り、皆で共有することにて日々防止に努めている。		

グループホーム 永山亭

自己評価	外部評価	項目	自己評価(永山亭2)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現段階では、入居者の方に対象者がいない為学ぶ機会は設けていないが、研修のある際は出席が出来る様心掛けている。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、書類や口頭にて理解して頂けるよう説明を行なうと共に、疑問点についても分かりやすく説明をし、納得して頂いている。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に、内部外部の受付を三箇所記載している。又、苦情や意見があった際は、全スタッフに報告をし、速やかに対応をしている。面会時等に、意見を聞き出せるよう、声掛けをしている。		
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティング時や、スタッフ会議等で常日ごろ意見を聞けるよう、対応している。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	グループホーム協会への入会にて研修等の参加を推進したり、資格取得時には給料の見直しをする等、働きやすい環境になるよう代表者は努めている。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月に1度勉強会の機会を設け、スタッフ各自でいろいろな課題を見つけ、一人ずつではあるが発表し皆で共有している。又、ホーム外での研修も希望者をつのり、参加出来る機会を作っている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は、地域包括のスタッフとの意見交換は行なっている。又、研修等で各自参加した際は、意見交換はしているも充分とはいえない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(永山亭2)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前より、ご本人ご家族の方でアセスメントを行い、利用者の不安の把握に努めている。又、日々入居者の方の話に耳を傾け、不安の軽減が出来る様に取り組んでいる。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時等、家族の思いや希望を聞き、その都度相談や納得して頂けるよう話し合いをし、信頼関係を築けるように努力している。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族の問題を把握をし、何が必要としているかを見極め、対応をしている。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の今までしてきた生活の形態や、経験を尊重をし、生活の中で活かせるように取り組んでいる。		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の方も一緒に参加が出来る行事を取り入れ、共に楽しんで頂いたり、ご家族の協力を得ながら、本人が不安なく過ごせるよう、面会の協力をお願いしている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会の時間や制限を設けず、いつでも面会に来て頂けるよう対応している。		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	スタッフが間に入り、入居者の方全員が参加出来るレクリエーションを取り入れている。日常会話もスタッフが間に入り、共通会話にて関わり合いの場を増やしている。		

グループホーム 永山亭

自己評価	外部評価	項目	自己評価(永山亭2)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された方のご家族等から相談等あれば対応をしている。又、長期入院の方については、時折面会にてご本人やご家族の方の支援に努めている。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご家族やスタッフの話し合いにて、本人本位になるように努めている。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	馴染みのある家具等を持参していただき、使用していただいたり、一人一人の生活歴の把握に努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の現状を把握し出来る事はご自分でして頂けるように努めている。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者が中心となり、スタッフ、ご家族の方との話し合いをし、介護計画の作成をしている。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録を行い、スタッフ間の話し合い等にて情報の共有をし、支援を行なっている。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況の変化があれば、スタッフ、家族間にて話し合いをし、ニーズに対応出来るように努めている。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事の参加や、近隣の公園などを散歩をしたり、季節に合った行事作りをし、日々の生活を楽しめるように支援している。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族やご本人の希望に沿って対応している。又、協力病院の往診も可能である事を伝え、話し合いのうえ決定している。		

グループホーム 永山亭

自己評価	外部評価	項目	自己評価(永山亭2)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週2回の看護スタッフによる健康相談の実施と、毎日のバイタル測定により、入居者の方の状況を把握し、主治医との連携を図っている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は、面会や病院関係者との情報交換をし、状況の把握に努めている。又、ご家族の方と連絡を取り相談をしながら対応をしている。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人やご家族の方の意向を尊重出来る様、主治医と相談をし連携を図っている。又、本人の苦痛や不安などの軽減をし、ご家族の方が不安にならないよう都度説明などを行なう。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを作成し、消防職員の指導の下、実践的な訓練を行なっている。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の方の参加や協力も得て、実際の火災を想定した避難訓練を定期的に行い、消防設備の点検も行なわれている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個別の支援に重点を置き、一人一人の人格やプライバシーの尊重に努めている。又、個人情報の管理についても、スタッフで周知徹底をされている。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定が出来る様な声掛けや、支援を行なっている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースを優先し、何か希望や要望があった場合には、可能な限り対応をしている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問美容等で対応をしている。		

グループホーム 永山亭

自己評価	外部評価	項目	自己評価(永山亭2)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しめるよう工夫をしています。又、利用者とスタッフが一緒に食事を摂り、会話をしながら楽しく食事をしている。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分や食事は表に記入をし各自確認している。又栄養バランスや各自の好みに合わせた対応をし、少なめでの対応の方に関しては、観察を行なっています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自力にて口腔ケアを行えない方に関しては、介助にて清潔保持に努めている。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄表を利用し、個々の排泄状況に応じた対応をしている。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄表の確認で、排便状況の把握をする。又、軽い運動や水分を促し、便秘の予防に努めている。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴日は決まっているが、声掛けをし楽しく入浴が出来る様配慮をしています。又、その日の体調を把握し入浴をして頂いている。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中帯は、本人の意志を聞き入れ考慮をして休息をしていただき、夜間帯は、安心して良眠が出来るように努める。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医の指示の下、全スタッフが個々入居者の方の服薬の把握をし、日々観察や状態の把握に努めている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	レクリエーションの参加や、作品作り、日常生活のお手伝いや行事への参加をしている。又、季節ごとに応じた行事を実施し、スタッフと共に楽しんで頂いている。		

グループホーム 永山亭

自己評価	外部評価	項目	自己評価(永山亭2)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>天気の良い日等は近くの公園や町内を散歩したり、ホーム前にベンチや花壇等を置き、日光浴を楽しんだりしている。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人が所持していた際に無くなったという事が聞かれた為、事務所で預かりをし必要な時に手渡しをして対応をしている。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>希望があった際には、その都度対応をしている。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>歩行の妨げにならないように椅子等を配置をし、明るさ清潔にも細心の注意を払い、消毒の徹底もしている。又、季節感ある展示物などを掲示している。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファは、1人掛け、2人、3人掛けと様々に用意をし、その方に合った空間や居場所の提供に注意をしている。</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>それぞれの個性や希望になるよう本人と相談をし、写真や花、カレンダー等工夫をして配置しています。</p>		
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>安全では手すりや、入浴時には滑り止めマットを使用をし、注意を払っている。又、個々の状態に合わせて、対応をしている。</p>		

目標達成計画

事業所名 グループホーム 永山亭
作成日：平成 23年 10月 29日
市町村受理日：平成 23年 11月 6日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の開催が、2ヶ月に1度と決められているが業務に追われ、開催がされていない。	2ヶ月の1度の定期開催が出来る様、業務内容の見直しや、内容等の検討をし、定期開催を目指す。	地域の人達が沢山参加出来る様幅広く声かけをしていくとともに、地域包括への働きかけをしていき、今以上の開催を目指していく。又、全家族へ都度報告をしていく。	12ヶ月
2	33	重度化や終末期に向けての指針が、明示されていない。	重度化や終末期への作成の完成を目指し、ご家族の方に説明すると共に、明示をしていく。	全スタッフにて、重度化や終末期へ向けての方法や取り組みを話しあい、理解をしていく。又、ご家族の方への説明と明示をするための指針の作成に取り組む。	12ヶ月
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。
注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。